



児童が税金について学習

12月10日役場税務課の職員が講師となり富岡小学校の5、6年生の教室で租税教室が行なわれました。

税金がある暮らしと税金がない暮らしではどんな違いがあるのか、ビデオを見て比較し、私たちが納めている税金がどのようなことに使われているのかを学び、教育や福祉、道路の維持や公園の管理、治安を守るなど私たちが安全で快適な生活を送るために使われていることを知ると、日本にある50種類もある税金の名称や使い道、世界で一番税金が高い国はどこなのか？などといったことに興味を示していました。

絵画展を実施中

現在、ぬくもりの湯のガーデンングホールで織田ミイさん（追分緑が丘）の絵画が展示されています。織田さんは趣味として長年油絵を描き続け、今回は花や自然をモチーフとした絵を出品。入浴に来た人も立ち止まって鑑賞していました。会場には1月18日まで展示しています。



大きなツリーを作成

安平町国際交流センターでは、12月13日に追分公民館のロビーで高さは5.2mクリスマスツリーを作成し、12月27日まで展示しました。昼食時には、皆さんで作ったピザとケーキを食べてクリスマスを楽しみました。



ジャンボツリーの前で撮影

救急法や心肺蘇生などを体験

12月13日に日本赤十字社北海道支部主催による救急法基礎講習会が町民センターで開催され、講義と実技が行われました。2人1組になり意識や呼吸の有無を確認後に、適切な対処法を学び、器具を使った心肺蘇生法などを受講者は体験していました。



選挙制度 120 周年に感謝状を受賞

選挙制度 120 年を迎え、総務大臣感謝状が元・早来町選挙管理委員長の高岡清雄さん（早来栄町）に贈られ、伝達式が12月14日に役場早来庁舎で行われました。高岡さんは昭和50年に補助員として正規管理委員と共に4年間勤務。以後早来町の選挙管理委員や委員長を歴任し、選挙の管理執行及び明るい選挙の推進に尽くされたことが評価されました。

なお、今回の感謝状は北海道から10名、胆振管内で高岡さん1人が受賞されました。



感謝状を受ける高岡さん(右)

地域の福祉のために使ってください

北海道コカ・コーラボトリング株式会社は地域に対する社会貢献として昭和43年から道内の市町村の福祉施設へクリスマスプレゼント事業を行っています。

今回は安平町に自社製品の清涼飲料水816本を寄贈。12月15日に会社の担当者が社会福祉協議会を訪れ、島山会長に目録を渡し、「福祉施設の子供やお年寄りのために使ってください」と缶ジュースが入ったケースを贈呈しました。

